

# Frequently Asked Questions

## CommandCenter® Secure Gateway



### リリース 5.2

質問	回答
CommandCenter Secure Gateway (CC-SG)とは何ですか	CommandCenter Secure Gateway (CC-SG)は、データセンタおよびリモートオフィスに設置された KVM、シリアル、および電源制御デバイスに Web ブラウザ経由または CLI ベースで統合的かつ安全にアクセスするための管理アプライアンスです。CC-SG にはラックマウント対応のハードウェアソリューションと、Vmware® 環境で動くバーチャルアプライアンスの 2 つのタイプがあります。ラリタンの Dominion® シリーズ、Paragon® II、IP-Reach®, Dominion PX インテリジェント PDU (電源タップ)を管理し、サーバとデバイスへのユーザアクセスに適用されるポリシーとセキュリティを集中的に管理できます。CC-SG は、アクセスと電源制御のさまざまな方法を使用して、デバイス、ソフトウェアアプリケーション、データセンタ内のその他のソリューションの集中管理機能を提供します。対象となるのは、ラリタンのデバイス、HP iLO2、Dell® DRAC、IBM® RSA、IPMI などの組み込み型サービスプロセッサ、RDP、VNC、SSH、Telnet、Web ブラウザなどのインバンドソフトウェアソリューションです。
どのような CC-SG ハードウェアオプションがサポートされますか？	ラリタンは、中小規模のビジネスと、大規模なエンタープライズビジネスの両方に対応するために、さまざまなハードウェアバージョンを提供しています。CC-SG E1 は大規模サイトと冗長構成のために電源の二重化が必要な環境を対象としています。CC-SG V1 は、ネットワークの冗長構成またはサブネットプロキシ環境向けに設計された強力な KVM、およびインバンドアクセスと電源管理のアプライアンスです。  CC-G1 ハードウェアモデルは 2007 年 6 月に終了しました。バージョン CC-SG4.0.0 以降の新機能と改善内容を利用するには、CC-G1 を E1 または V1 モデルにアップグレードする必要があります。CC-G1 を新しいハードウェアにアップグレードするときは、ラリタンの営業担当または販売代理店にお問合せください。
CC-SG がインストールできる仮想プラットフォームはどれですか？	CC-SG は、VMware 仮想マシンにインストールできます。詳しくはサポートドキュメントの「CC-SG compatibility matrix」をご参照ください。

質問	回答
<p>CC-SG はどのラリタン製品をサポートしますか？</p>	<p>CC-SG は、ラリタンの KVM-over-IP スイッチ Dominion KX、KX II、KX II-101 およびシリアルコンソールサーバ Dominion SX、リモートオフィス向けアプライアンス Dominion KSX II および Paragon II を管理できます。また、ラリタンの Dominion PX インテリジェントラック電源管理ソリューションへの接続性を提供することで、集中的なリモート電源管理にも対応できます。 *Dominion KX II 経由で Paragon II へのアクセスもサポートします。</p>
<p>CC-SG は、ラリタンのその他の製品をどのように統合しますか？</p>	<p>CC-SG は、独自の強力な検索および検出テクノロジーを使用して、選択されたラリタンデバイスを特定し、接続します。CC-SG が接続、設定されると、デバイスの接続は透過的になり、管理が簡略化されます。</p>
<p>CC-SG にはソフトウェアサポートプログラムはありますか？</p>	<p>あります。プロダクトアップデートやラリタンの技術サポートへのアクセスを含むソフトウェアサポートが CC-SG 購入後一年間は無償で提供されます。一年間を経過した後のサポートには、延長ソフトウェアサポートを購入いただくこととなります。サポートが途切れないように、購入後一年経過する前に延長サポートを購入されることが重要です。</p>
<p>CC-SG のバーチャルアプライアンスは複数の仮想サーバ上で動かすことができますか？</p>	<p>バーチャルマシンごとに、個別のライセンスが必要になります。</p>
<p>スマートフォンから CC-SG にアクセスできますか？</p>	<p>はい、できます。バージョン 5.2 でモバイル KVM クライアント (MKC) が搭載され、モバイルデバイスからの KVM アクセスと電源コントロールが可能になります。iOS4.0 以降の iPhone/iPad に対応しています。  MKC は Dominion KX II 経由のアウトオブバンドアクセスと DRAC、iLO/iLO2/iLO3、IPMI、RSA、VMware 仮想マシンに対する CC-SG からの電源コントロールをサポートします。さらに Power IQ で管理された PDU と Dominion PX もサポートします。</p>
<p>ノードライセンスとは何ですか？</p>	<p>CC-SG はアクセスできるノードとインタフェースの数でライセンスが決まります。ハードウェア、バーチャルアプライアンスともに購入時には 128 ノードライセンスが含まれています。システムの変更や拡大といったニーズに応じてライセンスの追加が可能です。</p>

質問	回答
<p>使用している製品が CC-G1 であることはどのように確認できますか？</p>	<p>2006年5月より前に CC-SG を購入、受領している場合は、その製品は CC-SG G1 ハードウェアです。2006年5月より後に製品を受領し、ハードウェアのモードが不明な場合は、次の3つのいずれかの方法でご確認ください。</p> <p><b>シリアル番号を調べる</b>                  本体下部に記載されているシリアル番号を探してください。                  シリアル番号が「XG」から始まっているモデルは G1 です。</p> <p><b>管理クライアント GUI を使用する</b>                  CC-SG の管理インタフェースにログインします。                  [Administration] ドロップダウンメニューから [Configuration] オプションを選択します。                  [SNMP] タブを選択します。                  [System Description] 領域にハードウェアモデルが表示されます。</p> <p><b>診断コンソール CLI を使用する</b>                  SSH クライアント (PuTTY など) のポート番号 23 から CC-SG IP アドレスに接続します。                  ステータスアカウントでログインします。                  [Model] フィールドの [System Information] という領域に CC-SG-G1 と表示されます。</p>

質問	回答									
<p>CC-SG V1かCC-SG E1を使用していて、プロセッサがAMDかIntel®か確かめる方法がありますか？</p>	<p>まず、V1モデルかE1モデルかをGUIから確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. WebブラウザにURL&lt;YOUR_CC-SG_IP_address&gt;/admin&gt;と入力してAdminクライアントにログインします</li> <li>2. トップメニューのAdministration&gt;Configurationを選択します</li> <li>3. SNMPタブを選択します</li> <li>4. “Update Agent Configuration”ボタンの上に、CC-SGのファームウェアとハードウェアのモデルが表示されます。</li> </ol> <p>上記のモデル特定は、コマンドラインインタフェースからも可能です</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ポート番号23を使って、CC-SGのIPアドレスにSSHセッションをひらく</li> <li>2. “status”としてログインする</li> <li>3. [Model]フィールドを見る</li> </ol> <p>いずれの場合も、ハードウェアとプロセッサの関係は以下になります。</p> <table border="1" data-bbox="597 848 1477 953"> <thead> <tr> <th>ハードウェア</th> <th>AMD</th> <th>Intel</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CC-SG E1</td> <td>CC-SG E1-0</td> <td>CC-SG E1-1</td> </tr> <tr> <td>CC-SG V1</td> <td>CC-SG V1-A</td> <td>CC-SG V1-1</td> </tr> </tbody> </table>	ハードウェア	AMD	Intel	CC-SG E1	CC-SG E1-0	CC-SG E1-1	CC-SG V1	CC-SG V1-A	CC-SG V1-1
ハードウェア	AMD	Intel								
CC-SG E1	CC-SG E1-0	CC-SG E1-1								
CC-SG V1	CC-SG V1-A	CC-SG V1-1								
<p>CC-SGは仮想サーバへのアクセスと管理をサポートしていますか？</p>	<p>サポートします。CC-SGファームウェアバージョン4.0は、CC-SGに仮想化環境を追加することで、CC-SGから仮想マシン、仮想ホスト、および制御システムに接続できます。新しい仮想化機能には、仮想化環境へのシングルサインオンアクセスの簡単なセットアップ、仮想マシンと仮想ホストに仮想電源コマンドを発行する機能、シングルクリック接続によるトポロジビューが含まれます。CC-SGをVMware™環境と統合することで、Virtual Centerソフトウェア、ESX™サーバ、VMotion™機能などの機能をサポートできます。</p>									
<p>CC-SGはブレードサーバへのダイレクトKVMアクセスをサポートしますか？</p>	<p>CC-SGはKX II経由でブレードサーバのアクセスと管理をサポートします。CC-SGは、ブレードサーバとブレードを収納したシャーシをGUIで簡単に管理することができます。</p>									

質問	回答
<p>CC-SG は、ブレードシャーシ製品をどのように統合しますか？</p>	<p>CC-SG は、透過パススルーとして KVM またはシリアルインタフェースを持つデバイスをサポートします。全てのブレードシャーシには、ブレードシステム管理用の KVM 接続が 1 つ付属します。一部のブレードサーバでは、ブレードサーバメーカー独自のアドオンコネクタを使用して KVM をブレードベースに接続できます。これにより、ラリタンデバイスからブレードサーバにアクセスし、制御できます。さらに CC-SG は、HP iLO2、RiLOEII、Dell DRAC(4/5/6)、IBM RSA II などの埋め込みカードを利用してアクセスと電源管理の機能を組み込むことができます。通常は、これらのカードはブレードシャーシ側に取り付けられ、エンクロージャ全体を制御します。CC-SG は、ラリタンデバイスに接続された電源タップ経由でも電源管理機能を提供できます。</p> <p>また、RDP、VNC、または SSH を使用して個々のブレードへの集中的なアクセスを集約した環境を提供することもできます。</p> <p>バージョン 5.2 では、Cisco® の UCS にも対応しました。CC-SG から UCS の Intergrated management Controller(CIMC)への KVM と IPMI アクセスを提供します。</p>
<p>CC-SG の “クラスタ” とは何ですか？</p>	<p>CC-SG のクラスタは二台の CC-SG ハードウェアアプライアンスから構成されます。一台がプライマリ、もう一台がプライマリ機に問題があった場合にバックアップするセカンダリです。二台とも共通のデータをアクティブユーザとアクティブコネクションについて共有し、すべてのステータスデータは二台に複製されています。</p>
<p>2 組の CC-SG バーチャルアプライアンスをクラスタにすることはできますか？</p>	<p>できません。バーチャルアプライアンスのフェイルオーバーのためには、VMware の High Availability 機能を用いてサポートします。</p>
<p>バックアップのクラスタユニット用に追加ライセンスが必要ですか？</p>	<p>必要ありません。一度にアクティブなのは一台だけのため、セカンダリユニット用のノードライセンスは必要ありません。</p>
<p>CC-SG の “ネイバーフッド” とは何ですか？</p>	<p>CC-SG の “ネイバーフッド” は、企業の IT インフラにアクセス管理するニーズに応えるための 10 台までの CC-SG の集合体です。ネイバーフッドは大規模のシステムまたは地理的に分散した構成での運用効率を向上させるために CC-SG を分散させて導入することを可能にします。</p>
<p>他の CC-SG ネイバーフッドで管理されているサーバやデバイスをどうやってみつければよいですか？</p>	<p>直接 CC-SG ネイバーフッドによって管理されているノードをアクセスクライアントから探してインタフェースを立ち上げることができます。さらに、複数にまたがったネイバーフッドユニットを統合し、必要に応じて簡単で便利なアクセスを提供します。</p>

質問	回答
クラスタとネイバーフッドを一緒に導入できますか？	もちろんです。CC-SG をクラスタ+ネイバーフッドの組み合わせ構成で導入することによって、性能が向上するだけでなく、自動フェイルオーバーを実現し、ダウンタイムを削減します。
ネイバーフッドはバーチャルアプライアンスでも設定できますか？	ハードウェアアプライアンスと同じ方法で設定が可能です。
同じネイバーフッドの中にバーチャルアプライアンスとハードウェアアプライアンスを混在できますか？	できます。ひとつのネイバーフッドの中では全てのアプライアンスが同じファームウェアのバージョンである必要があります。
CC-SG のバーチャルアプライアンスを購入した場合、ハードウェアアプライアンスからの移行は簡単にできますか？	できます。このリリース 5.1 で、システム構成とデータベースが容易に移行できるようになりました。この場合も、両方のアプライアンスは同じファームウェアのバージョンでなければなりません。
CC-SG のステータスは、プロキシしているデバイスのステータスに制限されますか？	いいえ、CC-SG ソフトウェアは専用アプライアンスに常駐します。つまり、CC-SG がプロキシするデバイスが動作していない場合でも、ユーザは CC-SG にアクセスできます。
CC-SG の新しいバージョンが登場したときに、そのバージョンにアップグレードできますか？	<p>できます。使用できるファームウェアに関する情報は、ラリタンの Web サイトで公開されています。  <a href="http://www.raritan.com/support/CommandCenter-Secure-Gateway/">http://www.raritan.com/support/CommandCenter-Secure-Gateway/</a>では、ファームウェアをダウンロードすることもできます。</p> <p>アップグレードは、CommandCenter Secure Gateway クライアントのグラフィカルユーザインタフェースから行います。また、CC-SG アプライアンスの CD/DVD ROM ドライブもインストール/アップグレードに利用できます。</p>
CC-SG 用にいくつのログインアカウントを作成できますか？	作成できるログインアカウントの数に制限はありません。ただし、並行ユーザの数や、配備の構成に基づいて CC-SG と関連付けられるノードの数は、ライセンス数の上限や、システムの仕様によって制限されます。
特定のユーザに特定ノードへのアクセスを割り当てることはできますか？	はい、管理者権限を持つユーザであれば可能です。管理者は、ユーザごとに特定ノードを割り当てることができます。

質問	回答
<p>CC-SG ではパスワードはどのように保護されますか？</p>	<p>パスワードは、MD5 暗号化（一方向ハッシュ）を使用して暗号化されます。これによってセキュリティが追加され、未承認ユーザがパスワードリストにアクセスできなくなります。</p> <p>また、Active Directory、Radius、LDAP、TACACS+サーバを使用してユーザをリモート認証できます。リモート認証を使用する場合は、パスワードは CC-SG への格納またはキャッシュがされません。</p>
<p>管理者が CC-SG データベースに新しいノードを追加し、それをユーザに割り当てましたが、そのユーザの [Device Selection] テーブルにはそのノードが表示されません。なぜでしょうか？</p>	<p>新たに追加されたノードは、ユーザのノードテーブルに自動的に表示されます。テーブルを更新して新規割り当てノードを表示するには、[Refresh] ボタンをクリックします。</p> <p>注： CC-SG ツールバーの更新ボタンをクリックしてもセッションは終了しません。セッションが終了されるのは、ブラウザの更新ボタンのみです。</p>
<p>デバイスやユーザの情報を CC-SG に追加するときは手動で行うのでしょうか？</p>	<p>いいえ、バージョン 4.2 以降の CC-SG ではインポート・エクスポート機能を搭載しています。CSV ファイルをインポートすることでデバイス、ノード、ユーザ、関連付け、PDU の構成プロセスを簡素化します。インポート・エクスポートできるファイルには以下のものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* カテゴリーと要素のインポート・エクスポート</li> <li>* ユーザグループとユーザのインポート・エクスポート</li> <li>* ノードとインタフェースのインポート・エクスポート</li> <li>* デバイスとポートのインポート・エクスポート</li> <li>* Power IQ® のインポート・エクスポートファイル</li> </ul>
<p>CC-SG はどのバージョンの Java をサポートしていますか？</p>	<p>特定の CC-SG ファームウェアリリースで必要な JRE のバージョンについては、互換性マトリクスを参照してください。たとえば、CC-SG 4.0 は 1.5.0_10 以降の JRE をサポートします。</p> <p>CC-SG 管理者は、CC-SG ユーザが使用する JRE のバージョンを独自に設定することができ、その JRE バージョンへのハイパーリンクも表示できます。</p> <p>注： CC-SG の Java ベースの管理クライアントや、MPC や VKC などのラリタン製コンソールアプリケーションを使用するには、JRE が必要です。CC-SG の HTML ベースのアクセスクライアントを使用する場合は、JRE は必要ありません。</p>

質問	回答
管理システムは、具体的にどのような変化を監視し、アラートを出力するのですか？	CC-SG は、CC-SG と管理対象ラリタンアプライアンス両方のユーザアクティビティ(ログイン/ログアウト、接続/切断)と構成の変化、および接続アプライアンスのステータスの変化をログに記録します。これらの情報は全て、SNMP または Syslog 経由でネットワーク管理システムまたはエンタープライズ通知システムに転送できます。
論理データベースに変更が加えられ、物理レベルで移動または交換される CIM (コンピュータインタフェースモジュール) の推奨用途は何ですか？	各 CIM にはシリアル番号とターゲットシステムの名前が記録されています。ラリタンのシステムデバイスは、接続を別のスイッチに移動した場合に、名前が指定されたターゲットとの接続を CIM が維持するものと見なします。この移動は自動的にシステム構成に反映され、CC-SG に伝播されます。CIM を別のサーバに移設した場合は、管理者は CIM の名前を変更する必要があります。
CC-SG は Power IQ と統合できますか？	<p>できます。CC-SG は電源管理ソリューション Power IQ と多くの統合ポイントをもっています。一つめは、ノード、インターフェイス、アウトレット、デバイス情報といった Power IQ のデータを CC-SG に送り込むことで、両方のデータベースにデータを入力する時間を削減できます。また、CC-SG と Power IQ の間でインポート、エクスポートによるデータのやり取りが可能になり、迅速に簡単にデータの共有と同期を実現しました。</p> <p>また、CC-SG ユーザはラリタンの Dominion PX™やその他サードベンダーの PDU につながったノードの電力を Power IQ 経由で CC-SG のクライアントを離れることなく管理することができます。</p>
CC-SG と現在使用中の Paragon と共存可能ですか？	可能です。Paragon II を Dominion KX II に接続して KX II をコネクテッドデバイスとして設定してください。詳細は Paragon II のユーザガイドを参照してください。
CC-SG の管理対象ラリタンデバイスにログインしているユーザはどのように確認できますか？	CC-SG は、デバイスにログインしているユーザのリストを表示し、アクティブユーザレポートには、ノードに現在アクセスしているユーザが表示されます。CC-SG GUI のデバイスツリービューでは、現在アクセスされているデバイスが太字で表示されます。また、太字のノード名と太字のノードインタフェース名は、ユーザが現在アクセスしていることを示します。
CC-SG では複数のデバイス画面を表示できますか？表示方法も教えてください。	多数のデバイスが CC-SG に接続されている場合は、適切なアクセス権限が割り当てられているユーザは、画面をスクロールして全て表示できます。それぞれが 1 つのノードに対応した複数の画面を開くことができますが、KVM over IP チャンネルの容量によって KVM 側の制限を受けます。

質問	回答
SSL 暗号化は内部的(LAN)ですか、外部的(WAN)ですか？	両方です。セッションは LAN/WAN などのソースに関係なく暗号化されます。
監査/ロギング機能は、誰が電源プラグをオン/オフしたかまで追跡できますか？	できます。直接的な電源スイッチオフはログに記録されませんが、CC-SG GUI による電源のオン/オフは監査証跡に記録され、監査証跡レポートで確認できます。
CC-SG はクライアント証明書要求をサポートしていますか？	しています。CC-SG で [Setup] の下の [Security Manager] にアクセスしてください。
CC-SG は仮想メディアをサポートしていますか？	しています。CC-SG は仮想メディア拒否、表示、制御のアクセスポリシーをサポートしています。CC-SG の仮想メディア機能のメリットを利用するには、CC-SG が管理する Dominion KX II 製品を使用してください。Dominion KX II で仮想メディアを使用するには、特別な仮想メディア CIM (コンピュータインタフェースモジュール) も必要です。
CC-SG は Firefox® をサポートしますか？	Firefox 3.0 を含め、サポートします。サポートする WEB クライアントについてはラリタンにお問い合わせください。
CC-SG が統合できる IT マネジメントアプリケーションやクライアントはありますか？	できます。ラリタンはそのために WS-API をオプションとして提供しています。これによりカスタマイズしたクライアントアプリケーションから CC-SG、接続されたノード、その他の CC-SG の機能にアクセスできます。オプション料金は価格表をご参照ください。
CC-SG の RAID ドライブに問題があった場合、新しいドライブに交換できますか？	はい。RAID ドライブで問題が起こる場合は CC-SG の管理者ガイドに、詳細とトラブルシューティングをご参照ください。CC-SG のバージョン 4.1 以降では、スクリーン上の診断メニューから問題の特定が可能です。ご不明な点は、ラリタンのテクニカルサポートにご相談ください。
CC-SG は AES-256 をサポートしますか？	サポートします。AES-256 は管理画面から選択できます。AES-126 は初期設定になっています。
CC-SG の試用版はありますか？	<p>あります。VMware Player または ESX, ESXi 上で動く CC-SG の試用版があります。ラリタン販売代理店経由で CC-SG16-VA をご注文いただくか、ラリタンのホームページからダウンロードできます。</p> <p>この試用版は、以下 2 点を除いてすべての機能を満たしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● インターフェイスのサポートは 16 まで</li> <li>● CC-SG WS-API のオプションはサポートしません</li> </ul>

質問	回答
<p>CC-SG クライアントの .NET™バージョンはありますか？</p>	<p>あります。CC-SGには AKC (Active KVM Client) があり、JAVA のかわりにマイクロソフトの.NET テクノロジをつかっています。管理者もアクセスクライアントも.NET をサポートします。クライアント PC は Windows XP®, Vista®, Win7 の OS で動きます。</p>
<p>CC-SG を利用するためにクライアントマシン側に必要なアプリケーションは何ですか？</p>	<p>CC-SG はクライアント側に余分な負担は一切かけないよう設計されています。CC-SG はすべてのクライアントアプリケーションを保持し、提供しています。つまりそれは、クライアントデバイスの維持にほとんど何も必要しないということです。</p> <p>ただし、例外として、CC-SG アドミンクライアントまたは MPC や VKC といったラリタンのラリタンコンソールアプリケーションを使うつもり場合、Java(JRE)がインストールされている場合は、注意する必要があります。JRE は CC-SG の HTML アクセスクライアントの使用を必要としません。</p>
<p>Windows 7 や Windows 2008 のサーバをサポートしますか？</p>	<p>サポートします。CC-SG は Windows 7 や Windows 2008 サーバで動くターゲットをサポートします。これらの OS によるクライアント PC もサポートします。Windows 7 については、Home Premium、Professional、Ultimate いずれのバージョンもサポートします。</p>